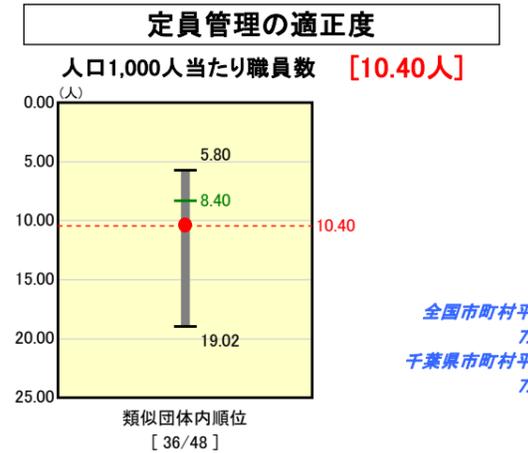
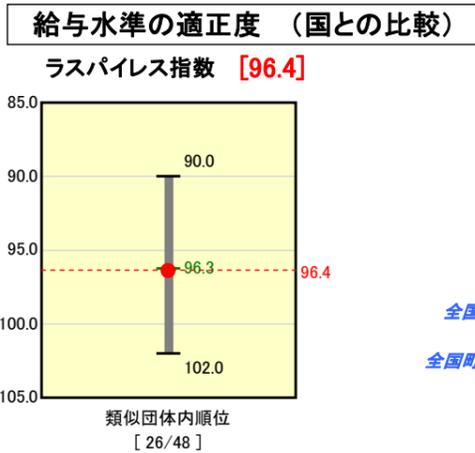
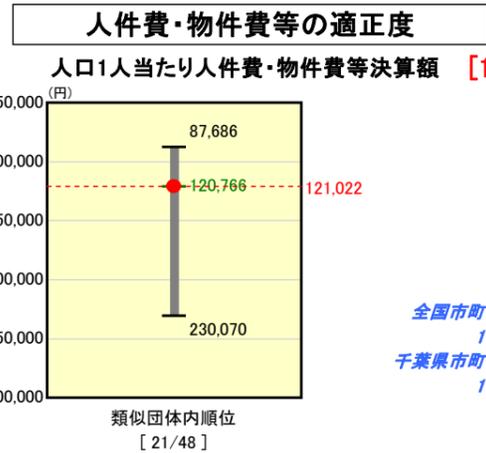
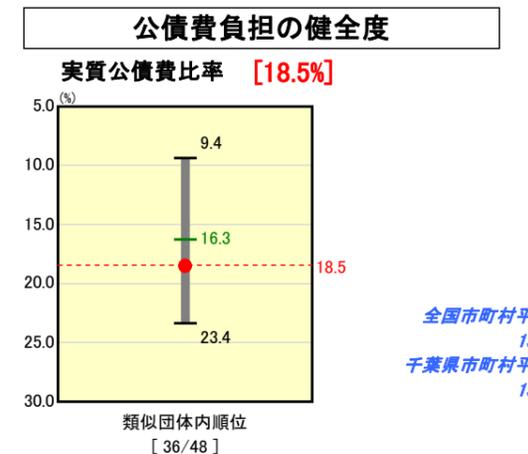
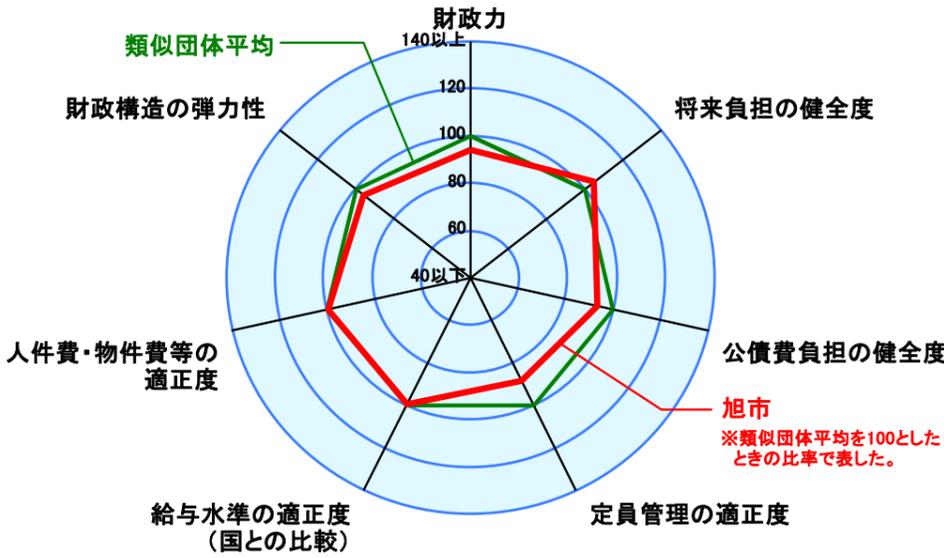
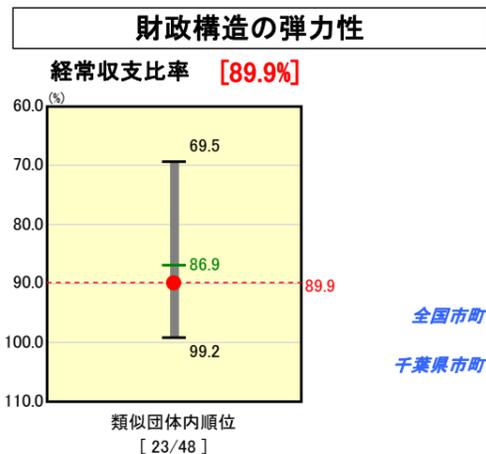
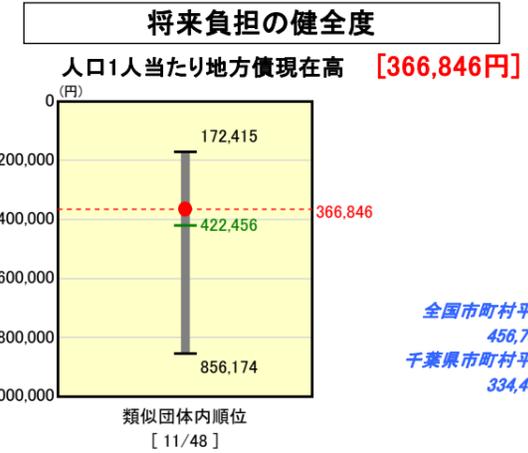
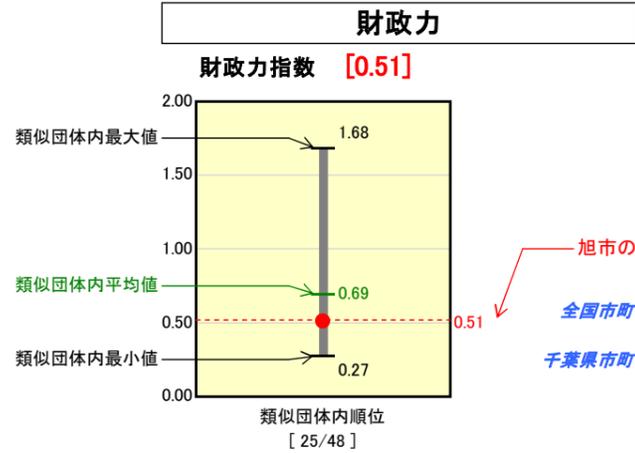


# 市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

## 千葉県 旭市

人口	69,972人	(H19.3.31現在)
面積	129.91	km <sup>2</sup>
歳入総額	25,816,494	千円
歳出総額	23,923,991	千円
実質収支	1,803,772	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

■財政力指数  
前年度から0.03ポイント上昇したが、類似団体平均を0.18ポイント下回っている。今後は企業誘致等による市税の増や受益者負担の原則に基づく使用料、負担金の見直しなど、歳入の確保策を講じるとともに、歳出では「総合計画」や「行政改革アクションプラン」に沿った施策を着実に実施しながら、合併による行政の効率化を計画的に推進し、財政基盤の強化を図る。

■経常収支比率  
合併の効果もあり前年度比3.7ポイントの減となったが、類似団体平均との比較では3.0ポイント上回っている。特に人件費分が35.5%と類似団体平均と比べ高い水準にあることから、人件費の削減を図るとともに、物件費等についても見直しを行い、財政の健全化に努める。

■実質公債費比率  
合併に伴い病院事業が一部事務組合から公営企業会計となり、繰出基準額が増加したことなどにより、前年度から1.7ポイント上昇し18.5%となった。今後も上昇が予想されるが、平成19年度に策定した「公債費負担適正化計画」の実施により、実質公債費比率の急激な上昇を抑えつつ、平成29年度までに18%を下回るよう努める。

■人口1人当たり地方債現在高  
現在のところ類似団体平均を下回っているが、今後、数年間は合併関連事業に伴う新規発行による増が見込まれる。他事業における地方債の発行を抑制するとともに、繰上償還の実施により地方債残高の縮減に努める。

■ラスパイレース指数  
新市における昇給等の見直し等、給与の適正化を図っており、類似団体平均とほぼ同水準に位置している。今後も引き続き給与水準の適正化を推進する。

■人口1,000人当たり職員数  
一部事務組合であったごみ処理業務や消防業務等が、合併に伴い市に編入されたことで職員数が増加し、類似団体平均を2.0人上回っている。ただし、職員総数は、組織改革や新規採用抑制により、前年度から26人減(754人⇒728人)となっており、引き続き「定員適正化計画」に基づく削減を進め、目標とする「平成17年度からの5年間で職員数7.6%の純減」の実現を目指す。

■人口1人当たり人件費・物件費等決算額  
職員数の減や合併移行に伴う臨時的事業の終了により、人件費、物件費ともに前年度決算を下回り、類似団体平均とほぼ同水準となっている。今後も「行政改革アクションプラン」に基づき、定員管理及び給与の適正化、指定管理者制度の導入等による人件費の削減と、事務事業の見直しによる物件費の抑制を図る。